

令和 3 年度
都筑区個性ある区づくり推進費
決算状況について

令和 4 年 8 月 31 日

都 筑 区

目 次

令和3年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について	1
令和3年度 都筑区自主企画事業説明書	
自主企画事業費	
施策1 つながりと協働を育むまち	
1 地域支援の種(たね)事業 重点 拡充	2
2 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充	3
3 区役所改善推進事業 拡充	5
4 自治会・町内会支援事業 拡充	6
5 広報・広聴事業 拡充	7
6 まちづくり総合調整事業	8
7 つづき“縁”ジン事業(市民活動・生涯学習支援事業)	9
8 地域de育む青少年事業	11
施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち	
9 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	12
10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	14
11 つづき健康づくりサポート事業(都筑区健康アクション!) 拡充	15
12 地域で支える高齢者支援事業	17
13 障害者交流啓発事業	18
施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	20
15 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	22
16 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点	23
17 文化活動支援・スポーツ振興事業	25
18 都筑 国際交流プログラム 拡充	26
19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	28
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	29
21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	31
22 安全・安心なまちづくり事業	33
23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	34
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業 重点 拡充	36
25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	38
26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	40

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、と表記しています。

令和3年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

（単位：円）

区 分	予算額	決算額	増△減
1 自主企画事業費	100,867,000	95,976,494	4,890,506
2 統合事務事業費	41,234,000	37,795,681	3,438,319
(1) 統合事務費	22,216,000	19,779,178	2,436,822
(2) 統合事業費	19,018,000	18,016,503	1,001,497
3 区庁舎・区民利用施設管理費	638,931,000	641,472,849	△ 2,541,849
合 計	781,032,000	775,245,024	5,786,976

＜内訳＞

1 自主企画事業費

施策の柱	予算額	決算額	増△減
(1) つながりと協働を育むまち	29,803,000	37,119,836	△ 7,316,836
(2) いきいきと健やかに暮らせるまち	17,656,000	13,954,853	3,701,147
(3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	18,098,000	13,437,928	4,660,072
(4) 安全・安心なまち	27,767,000	25,503,678	2,263,322
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	7,543,000	5,960,199	1,582,801
合 計	100,867,000	95,976,494	4,890,506

2 (2) 統合事業費

区 分	予算額	決算額	増△減
広報よこはま発行事業	10,272,000	9,831,898	440,102
市民相談事業	1,499,000	1,483,528	15,472
クリーンタウン横浜事業	1,590,000	1,446,232	143,768
消費生活推進員活動事業	493,000	438,451	54,549
緊急時情報システム運用事業	440,000	411,678	28,322
スポーツ推進委員支援費	1,807,000	1,507,963	299,037
青少年指導員事業	1,397,000	1,376,753	20,247
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520,000	1,520,000	0
合 計	19,018,000	18,016,503	1,001,497

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	予算額	決算額	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	226,051,000	237,429,469	△ 11,378,469
区版市民活動支援センター	931,000	900,571	30,429
土木事務所管理費（光熱水費含む）	6,812,000	5,750,978	1,061,022
地区センター等管理費	149,604,000	151,166,000	△ 1,562,000
ログハウス管理費	7,950,000	8,291,000	△ 341,000
公会堂管理費（光熱水費含む）	33,329,000	34,294,481	△ 965,481
老人福祉センター等管理費	106,463,000	92,461,135	14,001,865
コミュニティハウス管理費	51,930,000	51,929,997	3
区スポーツセンター管理費	40,213,000	42,812,112	△ 2,599,112
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	8,066,000	7,022,000	1,044,000
その他（広場・遊び場）	482,000	4,255,617	△ 3,773,617
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,100,000	5,159,489	1,940,511
合 計	638,931,000	641,472,849	△ 2,541,849

令和3年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

1 地域支援の種（たね）事業 重点 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		119万1千円	114万4千円

1 コミュニティ応援アドバイザー派遣事業

地域運営の総合力の向上につなげるため、自治会町内会等を対象に個々の地域課題に適したアドバイスを行う専門家「コミュニティ応援アドバイザー」を各地区に派遣しました。

令和3年度は、ICTを活用したタイムリーな情報発信と住民同士のコミュニティ活性化、地域性を生かした多世代交流の場づくり、自治会員のニーズを捉えた新たな自治会活動の検討などに取り組み、アドバイス後も各地域の活動に繋がっています。

- ・募集開始：6月21日（対象は地区連合町内会自治会・単位自治会町内会 計138団体）
- ・申込受付：4地区 延べ9回
- ・派遣実施：4地区 延べ8回（1回は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

<ICT活用アドバイスの様子>



<アドバイスで実施したイベントの様子>



- ・派遣後の活動例：

- (1) アドバイスで作成したHPやLINE公式アカウントを活用したデジタル回覧板やタイムリーなイベント情報の発信（メゾンふじのき台自治会）
- (2) メイドインつづき企業と連携した自治会イベントの検討（荏田東二丁目自治会）
- (3) 防災イベント等でのアンケート実施による会員ニーズの把握（タンタウン自治会）

2 NPO法人情報誌の発行

区内のNPO法人が大切にしていること、特徴や日頃の活動の様子、地域とのつながりなどを紹介した情報誌を発行し、自治会町内会や地区社会福祉協議会、各種委嘱委員等、協働の地域づくりに携わる団体との連携を促しました。（6月、10月、2月発行、各号8,000部）

新型コロナウイルス感染症対策による影響

アドバイザー派遣の中止（1回、3月）

2 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	373 万 7 千円	239 万 4 千円	134 万 3 千円
<p>1 地域懇談会の開催</p> <p>第4期計画推進にあたり、地域での課題共有・解決を促進するため、連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催地区：8地区（かちだ地区、新栄早渕地区、都田地区、佐江戸加賀原地区、川和地区、荏田南地区、茅ヶ崎南 MGCRS 地区、ふれあいの丘地区） <p>2 地域福祉保健計画推進体制強化事業</p> <p>(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めました。</p> <p>(2) 第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員向け計画説明会：4月（4回） <p>3 地域福祉保健活動補助金</p> <p>地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度「つづき あい基金」助成団体：4団体6事業 <p>4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催</p> <p>高齢者の見守りなどの活動をさらに広げるため、地域の関係団体や地域ケアプラザ等が参加して、話し合いを進めました。</p> <p>5 計画情報誌の発行</p> <p>各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つづき あい通信」：2月発行、5,500部 <p>6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営</p> <p>都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第4期地域福祉保健計画の推進状況やその方向性、地域の取組について学識経験者や区民による意見交換の場としました。</p> <p>また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年、高齢者、障害者、健康づくり及び生活困窮の各分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 9月2日（書面開催）、第2回 3月10日（書面開催） 			

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」を一部縮小して開催しました。

・つづき あいフォーラム：

第1部：社会福祉大会は中止とし顕彰は対象者に郵送

第2部：動画配信用映像撮影のためパネラーのみでパネルディスカッションを開催

・パネル展：5月20日～26日、区民ホール

2月17日～22日、区民ホール

8 横浜市都田地区センター及び横浜市都田地域ケアプラザ開所準備

・第2回指定管理者選定委員会：4月16日

・開所に向け、地域への説明や関係部署との調整を行いました。

主な増減	<ul style="list-style-type: none">・「つづき あい基金」助成金の申請団体数減により、助成金額が減少したことによる補助金の残・計画情報紙の発行回数減による残
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none">・地域懇談会開催地区数の減・つづき あいフォーラム開催手法の変更・地域支援に関わる職員向け研修の中止

3 区役所改善推進事業 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		1,205万7千円	2,203万6千円
<p>1 区役所改善推進事業</p> <p>(1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討のうえ、問い合わせ対応用に各課の業務をキーワードから逆引きできるリストの更新等を実施しました。(7月～3月)</p> <p>(2) 人権意識の向上を目的とした人権啓発講演会について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン動画配信により実施しました。(2月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発講演会 2月28日～3月13日 オンライン配信 視聴者 162人 テーマ：LGBTを理解する 講師：東 小雪(ひがし こゆき)氏 <p>(3) Web会議を目的とした区役所内ICT環境の整備</p> <p>民間企業など外部の組織・個人と円滑にWeb会議を実施できるよう、モバイルルーター等を調達しました。(7月～8月)</p> <p>2 区庁舎等環境改善</p> <p>区民ニーズに対応し、窓口ブースの改修や福祉保健センター健診室内の環境改善を行いました。また、コロナ対策として消毒用アルコールの購入、設置等を行いました。</p> <p>3 税理士等派遣事業</p> <p>確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、区民に身近な区役所において、専門知識を持つ税理士等の協力を得て確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援・受付を行いました。(2月16日～3月15日のうち10日間実施、申告收受数合計210件)</p> <p>4 来庁者サービスアップ事業</p> <p>窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置しました。(配置時間：8時45分～17時)</p> <p>また、お子さま連れのお客様が安心して区役所を利用できるよう、待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供しました。</p>			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口ブースパーテーションの設置や福祉保健センター健診室内の環境改善、エレベーター照明のLED化等による増 ・来庁者用アルコール消毒液や窓口等消毒用消耗品の購入等による増 		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	都筑区人権啓発講演会をオンライン開催に変更		

4 自治会・町内会支援事業 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		379万7千円	335万6千円
<p>1 自治会町内会加入促進 地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所による入会相談・入会取次の実施（計96件） ・ 転入手続時の加入促進リーフレットの配布 ・ 区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架 ・ 宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布 ・ 加入促進のためのトートバッグの作成 ・ 連合町内会等と連携した加入の呼びかけ ・ 自治会町内会活動を紹介する冊子の発行（10月、10,000部） ・ マンション自治会設立案内パンフレットの発行（10月、5,000部） ・ 自治会設立案内パンフレットを活用した自治会未設立・新築マンションへの働きかけ（自治会未設立マンション7か所、新築予定マンション1か所） <p>2 自治会町内会長感謝会 自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表しました。</p> <p>3 自治会町内会への情報提供 都筑区連合町内会自治会（以降、区連会）定例会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載しました。</p>			
主な増減	自治会町内会長感謝会縮小開催による委託料の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会町内会長感謝会の縮小開催 ・ 9月、1月、2月区連会の書面による情報提供 ・ 3月区連会の縮小開催 		

5 広報・広聴事業 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		229 万 1 千円	191 万 7 千円
<p>1 広報よこはま都筑区版アンケート調査の実施 令和4年度以降の紙面づくりの参考とするため、「よく読むページ」や「取り上げてほしいテーマ」などを伺うアンケート調査を実施しました。（8月、回答432件） なお、本調査にあたっては、アンケートに回答すると都筑野菜の提供店舗で使用できる食事券等が抽選で当たる企画を併せて実施し、都筑野菜の周知も行いました。</p> <p>2 インターネット広報 区ホームページにおけるオープンデータの提供、若年層に向けたツイッター等での情報発信や新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報の広報を区ホームページやツイッターで行いました。</p> <p>3 PRボックスの活用 毎月1日、全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日に広報印刷物の補充等を行いました。また、区内の郵便局やセブン-イレブンの店舗でも広報紙を配布しました。</p> <p>4 ガイドブック発行事業 2年度に新規発行した「都筑区ハンドブック」の更新を行いました。（3月、10,000部）</p> <p>5 主要事業の広報 地区連合自治会町内会で説明会（4月～7月）を行ったほか、広報よこはまへの掲載（6月）、区民ホールでのパネル展示（5月20日～26日）を行いました。</p> <p>6 広報研修の実施 主に各課で広報に携わる職員を対象に実施する広報研修について、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、集合型研修に代えて自席で学習できる研修資料を作成・配布しました。</p> <p>7 地域における意見交換会 住民と行政との意見交換会「地域のつどい」（2回、1月及び3月）と、地域で活動している団体との意見交換会「区長の気軽にトーク」（3回、6月及び7月）を行い、課題や地域ニーズの把握に努めました。</p>			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> ・PRボックスに係る広報紙配送及びメンテナンス委託費の減 ・都筑区ハンドブックに係る印刷製本費及びデザイン委託費の減 		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> 集合型広報研修の中止、地域における意見交換会の中止及び実施方法をオンラインに変更 		

6 まちづくり総合調整事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	284 万 5 千円	261 万 7 千円	22 万 8 千円

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議：6月21日）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会：2月24日）等を行いました。

(2) その他企業との連携

区内企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行いました。

開催実績：4講座（小学校2講座、中学校2講座）

2 まちの課題解決

横浜市生活交通バス路線（318系統）における冊子型時刻表の各戸配布（約7,000部、7月）や広報よこはまでの周知（9月号）など、利用促進PRの取組を進めました。

また、道路局・交通局と連携し、路線形態（ルート、便数、運行方法等）について検討しました。

3 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

令和6年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、整備の進捗等を紹介する、区民文化センターニュース第7号を発行（7月）しました。

都筑区 区民文化センターニュース 第7号
発行：令和3年7月21日

本号では、区の文化活動拠点となる都筑区民文化センター（仮称）の整備を進めています。今回のニュースでは、開館予定時期の変更と本事業の進捗状況についてお知らせします。

1 開館予定時期の変更について

(1) 開館予定時期
令和5年度の開館を目指して事業を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業者による設計施工体制の決定と本格的な設計の着手が遅れたため、開館予定時期を令和6年度として、引き続き事業を推進します。

(2) 整備スケジュール
令和4年1月に施工が開始され、令和6年9月までに区民文化センターが本市に引き渡される予定です。その後、本市での開館準備期間を経て、令和6年度の開館を目指します。
※当初案では、令和2年9月に用地での施工を開始し令和5年度の開館を目指していました。
※整備スケジュールの変更に伴う、区民文化センターの施設内容や設計施工体制の変更はありません。

年度	令和3年(2021)	令和4年(2022)	令和5年(2023)	令和6年(2024)	令和7年(2025)
事業計画・設計期間	計画	計画	計画	計画	計画
設計期間					
施工期間					
開館					

※この間のイメージ写真は、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。

2 事業の進捗状況について

※本資料に掲載している情報は、今後の設計などで実際の建物と異なる場合があります。

(1) 施設配置のコンセプト
区民文化センターの顔となるメインエントランスを緑地に面した西側に、サブエントランスをイベント会場ともなる全天候型広場に配置するほか、みなとウオーター側からのアクセスにも配慮し、設計を進めています。また、令和6年度の開館に向けて、区民文化センター周辺の活性化や賑わい創出など、魅力あるまちづくりの検討を進めています。

施設配置とアクセス

(2) 区民文化センターの施設構成
2階のホールは、横浜市都筑区における区民文化センター基本構想案申において承認された「多目的な演目に活用できる舞台」を実現するため、ゆとりある実行を確保し舞台設計を進めています。また、その他の階についても、基本構想に則り、設計を進めています。

民間施設部分を含む、事業全体計画につきましては、ボッシュ株式会社ホームページをご覧ください。
「都筑区民文化センター（仮称）およびボッシュグループ研究開発拠点の新設事業」<https://corporate.bosch.co.jp/>

発行：都筑区役所 区政推進課
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1
電話 045-948-2227 FAX 045-948-2389 Eメール tz-plan@city.yokohama.jp

主な増減

既存物品の活用による消耗品費の減

7 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業)	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	284万4千円	272万7千円	11万7千円

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを地域活動へ繋げることを目的とした連続講座を開催しました。(連続講座：6月～3月、全3テーマ、各5回、区役所会議室等、参加者総数25人、オンライン併用)

(2) ボランティアベース都筑

毎回テーマを変えてボランティア活動促進のサロンを開催しました。(5月～1月、全5回、区民活動センター、参加者総数32人、オンライン併用)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」を目指し、女性たちによるネットワークづくりの講座やイベントを開催しました。(連続講座：10月～11月、全7回、参加者20人、区役所会議室等)(イベント：3月、区民ホール等、参加者10人、オンライン併用)

(4) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙を発行するとともに、市民ライターを養成する連続講座を開催しました。(発行：7月、10月、1月、3月)(連続講座：6月～11月、全7回、区役所会議室等、参加者10人、オンライン併用)

(5) つながりカフェ

個人が市民活動を始めるためのきっかけづくりや市民団体間の交流を目的として、市民活動に関する交流会を開催しました。(8月31日、12月7日、区民活動センター等、参加者総数18人、オンライン併用)

2 ささえる（活動支援）

(1) 区民活動補助金

公益性が高く地域課題の解決に繋がる市民団体の事業に補助金を交付しました。(交付数5団体)

(2) 縁ジンミーティング

市民団体のスキルアップを図る講座や登録団体の交流会を開催しました。(7月3日、10月20日、区役所会議室等、参加者総数58人)

(3) 区民活動センター利用促進事業

センターの利便性向上を図り新規利用者を獲得するための事業を実施しました。(通年：講座や相談のオンライン対応等)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等の成果発表会を開催し、団体間の交流を図りました。(3月9日、参加者8人、オンライン)

3 つながる（連携、交流）

(1) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設のネットワーク強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めました。（6月、区役所会議室等）

(2) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体等による活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施しました。（3月、区民ホール等）

主な増減	区民活動補助金の申請団体が予算計画値を下回ったことによる補助金の減
------	-----------------------------------

8 地域 de 育む青少年事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		104 万 1 千円	92 万 9 千円
<p>1 青少年支援者育成講座</p> <p>青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上半期実施分（6月13日） 参加者 69 人（会場 17 人、ウェブ会議システム 52 人） テーマ：発達障害について 講師：中本テリー氏（臨床心理学者） <p>※下半期（2月）実施分は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。</p> <p>2 はあと de ボランティア</p> <p>夏休み期間を利用して、中・高校生及び小学校高学年が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施しました。なお、緊急事態宣言の発出に伴い、7月30日以降の活動（一部のボランティア体験及び振り返り会）については全て中止となりました。</p> <p>【活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション：7月16日、22日、25日、26日、全6回、 区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、 つづきMYプラザ、日々輝学園高等学校 参加者総数 293 人（うち小学生 89 人） ・ボランティア体験：7月27日～29日 体験者総数 19 人（うち小学生 9 人）、 体験先3プログラム（北山田地区センター、ニュータウン動物愛護会、都筑図書館） <p>3 つづきウォーク&フェスタ</p> <p>緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ウォーク及びフェスタの企画については、緑道マップ・イラストの展示や青少年の文化活動映像等の放映によるバーチャル開催としました。</p> <p>実施日：11月18日～24日 区民ホール</p>			
主な増減	新型コロナウイルス感染症の影響により青少年支援者育成講座が1回分中止になったことによる報償費の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	青少年支援者育成講座下半期（2月）実施分の中止		

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

9 妊娠期から学齢期までの	R3 予算額	R3 決算額	増△減
切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	962 万円	900 万 8 千円	61 万 2 千円
<p>1 夫婦で子育て応援事業 就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センター P o p o l a（以下ポポラ）及びポポラサテライト会場で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポポラ：毎月第4土曜日、12回実施、参加者数140組 ・ポポラサテライト：毎月第2土曜日、12回実施、参加者数131組 <p>2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会） 地域育児教室を区内14会場で各9回開催し、仲間づくりや育児相談をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・126回開催、参加者数延べ2,921人（2月は休止） <p>3 外遊び広め隊事業 地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施しました。また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び体験会」を区内の公園で開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外遊び連絡会：1月21日、参加者数12人 ・外遊び体験会：11月10日、17日、参加者数59組 <p>4 子育てネットワーク事業 ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修(子育てネットワーク会議)及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てネットワーク会議：第1回5月28日実施、19人 第2回は中止 ・子育てネットワーク交流会：12月6日、参加者数95人 <p>5 育児不安を抱える養育者への支援 育児不安を抱える養育者を対象に、育児に対する悩みや現在の心情を心理士が傾聴し、助言を行いました。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2歳児講座：第1回7月2日、26人 第2回12月3日、29人 <p>6 虐待等相談及び養育支援事業 児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を実施しました。(延べ591件)</p>			

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施しました。(第1・3火曜日：池辺町連合自治会館、第2・4火曜日：川和町内会館)

- ・参加児童数延べ86人、計45回

8 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演動画の配信や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けました。

- ・「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」

講演会動画配信：9月10日～12月27日、動画再生回数970回

ウェブ会議システムによる情報交換会：9月26日（3回実施）、参加者数延べ87人

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にする気持ちを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を実施しました。

- ・区内の全市立小学校（22校）の6年生全クラス（9月～2月）

10 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の市立中学校の生徒を対象にオンライン上での交流を実施しました。（7月26日）

主な増減	赤ちゃんふれあい体験事業（子ども達から親へのメッセージ）について、事業手法の変更による印刷製本費の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	・0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）の休止 ・子育てネットワーク事業の会議の中止（第2回）

10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		323 万円	207 万 2 千円
<p>1 おひさま広場（園庭開放）</p> <p>市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 園計 677 回実施、利用者数延べ 6,397 人 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8月26日から10月3日まで及び1月24日から3月13日までは休止。また、みどり保育園における土曜おひさま広場は、令和3年度中休止。) <p>2 休日園庭開放</p> <p>市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日に園庭を開放しました（8月を除く）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 園計 16 回実施、利用者数延べ 608 人 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、9月・2月は休止。また、雨天のため10月は中止。) <p>3 給食体験事業</p> <p>地域の親子が市立保育所の給食を体験する場を設けました。また、市立保育所職員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 園計 24 回実施、利用者数延べ 137 人 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、8月～9月及び1月～2月は休止。) <p>4 ほいくえん広場</p> <p>市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行いました。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施しました。</p> <p>Aエリア（仲町台周辺）：10月27日 せせらぎ公園 参加者 45人 Bエリア（中川・北山田周辺）：11月12日 滝ヶ谷公園 参加者 43人 Cエリア（茅ヶ崎周辺）：11月2日 都筑中央公園ステージ広場 参加者 51人 Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10月29日 都田小学校コミュニティハウス 参加者 30人 11月10日 みどり保育園園庭 参加者 89人</p> <p>5 積木交流</p> <p>市立保育所にある合計2万個の積木を使い、「つみきのつづき」として、積木遊びを通じた育児支援を広めました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、保育園での積木遊びの様子や合同育児講座の様子、区内保育施設のお子さんと職員向けの公開保育の様子等について、パネル展を開催してお伝えしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積木パネル展：2月7日、8日 区民ホール 			
主な増減	おひさま広場一時休止に伴う、協力者への報償費支払いの減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ おひさま広場、休日園庭開放及び給食体験事業の一部期間休止 ・ 積木交流の実施手法の変更 		

11 つづき健康づくりサポート事業 (都筑区健康アクション!) 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	284 万 1 千円	210 万 9 千円	73 万 2 千円

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨しました。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展 (10月)
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発 (26回)
- ・ピンクリボンキャンペーンパネル展 (10月)

2 食育推進事業

都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになる講座や相談を実施しました。

- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談 (19回)
- ・はじめての離乳食 (7回)
- ・保育園、幼稚園、小・中学校の食育担当を対象とした食育情報交換会：
 - 第1回 新型コロナウイルス感染症の影響で中止
 - 第2回 オンライン開催 (12月)

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や合同の研修会を行うことにより、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識を醸成しました。

- ・保健活動推進員全体研修 (5月)
- ・保健活動推進員、食生活等改善推進員、元気づくりステーションリーダー等地域の健康づくり団体を対象とした研修をウェブ開催 (9月)

4 都筑区健康アクション事業

区民を対象とした健康体操イベントを実施し、日頃、運動習慣がない方でも気軽に実践できる内容で、健康へ関心を持ってもらうきっかけを作りました。

- ・健康体操動画(「おうちで体操」)配信開始 (10月)
- ・ほいくえん広場における健康体操 (2回)

5 1歳児の歯みがき教室

乳幼児歯科相談のニーズも高く、歯の萌出時期であり歯みがきに対する不安が大きい時期である1歳児とその養育者に対して、楽しい雰囲気の中で歯みがきの方法やう蝕予防に対する知識や技術を習得するための教室を開催しました (5回)。

6 健康づくり環境整備

来庁者の皆様が健康づくりに関心を持てるよう、保険年金課待合スペースなどにおいて取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫を引き続き実施しました。

主な増減	食育・健康フェアのイベント中止による委託費等の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none">・食育・健康フェアのイベントを中止しパネル展のみを開催・区民まつり・ウォーク&フェスタの中止に伴う、食育啓発委託事業の中止

12 地域で支える高齢者支援事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		81 万 3 千円	44 万 6 千円
<p>1 認知症普及啓発事業</p> <p>(1) 認知症フォーラム（9月12日、大会議室、参加者150人） 都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供し、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催しました。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、地域ケアプラザと区役所をオンラインで中継して分散形式で実施しました。</p> <p>(2) 認知症サポート連絡会（月1回、計12回開催） 地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行いました。 3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインを併用したうえで、毎月開催しました。</p> <p>2 認知症人材育成事業</p> <p>認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施しました。 3年度は、認知症フォーラムと合同開催（9月12日）しました。</p> <p>3 福祉保健情報提供事業</p> <p>高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」を発行し、窓口等で配布しました。 ・主な配布場所：区役所、区民活動センター、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ</p>			
主な増減	認知症フォーラムの実施方法変更による委託料の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	認知症フォーラムの実施方法変更（オンラインの活用）		

13 障害者交流啓発事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	115万2千円	31万9千円	83万3千円

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行いました。

(1) 障害児・者による芋の収穫体験

障害児者による芋の収穫体験は新型コロナウイルス感染症拡大のため、一般公募は行わず、福祉農園実行委員会が所属している団体に募集を行い、参加人数を制限して実施しました。(10月24日、参加人数47人)

(2) ～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ

障害者週間にあわせた区内事業所紹介のパネル展、障がいのある子とそのご家族の写真展を開催しました。(12月4日～8日、区民ホール)

2 障害者地域啓発事業

(1) 区民まつり福祉バザー

地域住民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を予定していましたが、区民まつりの中止に伴い、中止としました。

(2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援(9月～2月)

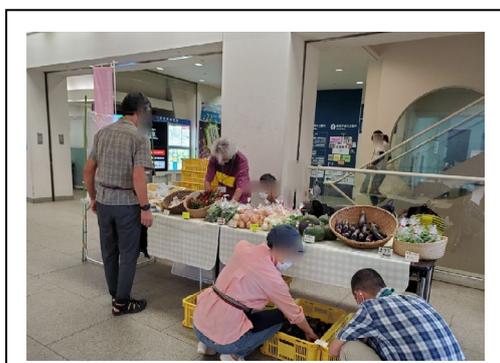
障害のある方が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会としました。

障害者グループホームに対し地域防災拠点訓練の日程連絡及び参加推奨を行いました。(参加したグループホーム数 4か所)

3 障害者施設支援事業(通年)

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内において障害者施設の自主製品の販売活動を支援しました。

《区民ホール 販売の様子》



<p>主な増減</p>	<p>～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタの新型コロナウイルス感染症拡大による事業内容見直し（公会堂での講演会、障害がある方の舞台発表の中止）による補助金の減</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策による影響</p>	<p>～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタはパネル展のみ実施</p>

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	582 万円	496 万 5 千円	85 万 5 千円

1 中小製造業支援

(1) 技術展示会出展支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置を行いました。また、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進しました。

- ・テクニカルショウヨコハマ 2022

会場展示：2月2日～4日、パシフィコ横浜 オンライン展示：2月2日～10日

メイドインつづき出展企業数：個別出展 20 社、共同展示 18 社



(図1)テクニカルショウヨコハマ 2022



(図2)メイドインつづき企業紹介冊子

(2) 中小企業向け支援講座

メイドインつづきに参加する企業を対象に、中小企業の課題である人材育成に関する講座を開催しました。(10月27日、参加者13人)

(3) 事業PRイベント

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力発信を行いました。

- ・こうじょうのキラキラ 2021：7月27日～8月2日、区民ホール

ご家庭でものづくりを体験できるよう、工場から出た廃材を配布しました。(メイドインつづき企業を紹介するパネル展も同時開催)

また、「動画で工場見学！」として、区内小学校の先生をナビゲーターに迎え、工場内部の様子を紹介する動画を作成し、区ホームページで公開しました。



(図3)こうじょうのキラキラ 2021



(図4)動画で工場見学！

2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の定期開催（概ね月4回）、区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜マルシェセットの貸し出し、飲食店を巡るスタンプラリー等、都筑野菜の認知度向上のための取組を通じて、地産地消を推進しました。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむための料理教室を動画形式で開催しました。



(図5) 都筑野菜グルメスタンプラリーチラシ



(図6) 都筑野菜クッキング(第6回)

主な増減

既存デザインの活用によるメイドインつづき企業紹介冊子作成に係る委託費の減

15 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		641万9千円	366万1千円
<p>1 都筑区民まつり</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により「第27回都筑区民まつり」は中止となりましたが、代替企画として特設ホームページの開設など「おうちで区民まつり」を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちで踊ろう♪都筑音頭・ニュータウン音頭 動画の募集及び紹介 : 10月20日～2月28日 (13本) ・都筑区民まつり特製ポストカードでのメッセージ募集: 10月20日～2月28日 (268通) ・都筑区民まつりを紹介するパネル展示: 11月2日～4日 ・いただいたメッセージのパネル展示: 3月17日～22日 <p>2 商店街魅力発信事業</p> <p>都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝えるため、新規リーフレットの作成や局と連携した「つづきたいちゃん」(都筑区商店街連合会公式キャラクター)のPRを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テイクアウト大作戦を紹介するパネル展示: 7月15日～22日 ・広報よこはま都筑区版での紹介: 4月、8月、1月～3月 <p>3 都筑・ドイツ交流イベント事業</p> <p>「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2021」を都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともにオンラインで開催しました。(11月25日～12月27日)</p> <p>内容: Web ステージ、区内飲食店のドイツ及びクリスマス関連メニューのテイクアウト、ドイツ文化の紹介、劇団かかし座 LIVE 配信、メイドインつづきオンラインワークショップ、10周年記念動画等</p>			
主な増減	第27回都筑区民まつりの中止による委託料等の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・第27回都筑区民まつりの中止及び代替企画である「おうちで区民まつり」の開催 ・「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2021」の会場開催を中止し、オンラインで開催 		

16 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	60 万円	30 万円	30 万円

1 英国水泳代表チームを歓迎する取組

東京 2020 大会に向けて横浜国際プールで英国水泳代表チームが事前キャンプを行ったことから、英国水泳代表チームを歓迎する取組を実施しました。

- ・区内小学校の児童による応援メッセージを記入した旗の掲出（7月5日～20日）

参加児童：東山田小学校 5、6年生
北山田小学校 1～6年生
牛久保小学校 5、6年生

場 所：横浜国際プール

※応援メッセージ入りの旗は7月20日の選手村入村時に持ち込んでいただきました。

- ・英国水泳代表チームとのオンライン交流の実施（7月19日）

参加児童：北山田小学校 5年生

牛久保小学校 5、6年生

- ・英国水泳代表チームを選手村へ歓送する取組の実施（7月20日）

参加児童：東山田小学校 5、6年生

- ・英国水泳代表チーム等を紹介するパネル展の実施（7月20日～26日、区民ホール）



《設置した応援旗》



《オンライン交流の様子》

2 ボツワナ共和国との取組

これまでの都筑区とボツワナ共和国とのつながりや交流を踏まえ、ボツワナ共和国の理解の促進や応援する取組を実施しました。

- ・茅ヶ崎小学校4年生が作成した応援パネルボードの展示（7月7日～8月22日）

場所：ホテル横浜キャメロットジャパン（事前キャンプ宿泊施設）・市庁舎アトリウム

- ・茅ヶ崎小学校4年生による応援動画の作成（7月9日撮影、18日視聴）

- ・茅ヶ崎小学校4年生とボツワナ共和国オリンピック代表チーム、在日ボツワナ大使館の三者によるオンライン交流の実施（7月14日）

- ・ボツワナ共和国に関する理解の促進や応援するパネル展の実施

（7月20日～26日、区民ホール）



《設置した応援パネルボード》



《オンライン交流の様子》

主な増減

イベントを一部縮小したことによる委託料の減

17 文化活動支援・スポーツ振興事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	262 万 9 千円	199 万 5 千円	63 万 4 千円
<p>1 都筑区民文化祭事業 「第 26 回都筑区民文化祭」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、開催に向け募集をしたキャッチフレーズ及びポスター画の優秀作品の表彰式（1 月 30 日、受賞者 7 人）等を実施しました。</p> <p>2 体育協会活動補助事業 都筑区体育協会に対し補助を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行いました。 ・区民大会種目数：11 種目</p> <p>3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業 区民の皆様のスポーツ振興と健康増進、異世代交流を図るため、スマートフォンのアプリを活用して、第 28 回都筑ふれあい健康マラソン大会を開催しました。 ・2 月 1 日～3 月 6 日、申込者数：192 組、235 人、参加人数：133 組、166 人</p> <p>4 都筑スポーツ・文化賞事業 スポーツ・文化活動への関心を高めるため、スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰しました。 ・3 月 7 日～8 日、被表彰者 3 団体及び個人 1 人</p> <p>5 地域の読書活動推進事業 第 2 期「都筑区読書活動推進目標」（令和元年度改定）に基づき、みゃーごとちゅーずのおでかけ図書館やつづきブックフェスタ等の事業および読書活動推進に関する懇談会を実施し、区内の読書活動を推進しました。 (1) 読書活動推進に関する懇談会：6 月 30 日、3 月 14 日、オンライン併用 (2) ブックフェスタ：11 月 18～20 日（講演会はオンライン併用、約 300 人） (3) 郷土史講演会：2 月 28 日（YouTube 配信、約 300 再生） (4) おでかけ図書館：区民利用施設等 11 箇所 (5) 本の修理ボランティア養成講座：1 月 20 日、区役所会議室、参加者 10 人</p> <p>6 パラスポーツ関連イベントの開催 横浜ラポール及び横浜 F・マリノスと連携し、ボッチャの魅力を伝えるために、道具を手作りして行うボッチャ体験動画を作成しました。 ・2 月 17 日～ 都筑区 HP 及び YouTube にて公開。また、区内関係各所にも周知。</p>			
主な増減	都筑区民文化祭事業を中止したことによる補助金の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・「第 26 回都筑区民文化祭」の中止 ・都筑ふれあい健康マラソン大会のオンライン開催 		

18 都筑 国際交流プログラム 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	203 万円	204 万 9 千円	△1 万 9 千円

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」に以下の事業の運営を委託しました。

(1) 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行いました。

また、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国及びアンゴラ共和国との交流事業を実施しました。

- ・多言語による情報提供や生活相談（通年）
- ・国際理解教室（茅ヶ崎小学校、3年生 144 人）
 - 6月30日：ボツワナ共和国臨時代理大使からのビデオメッセージ等
 - 12月16日：ボツワナ共和国大使が来校
- ・第8回都筑・ボツワナ交流児童画展
 - 11月11日～18日、ベン・テマ小学校
 - 12月16日～23日、区民ホール
 - 2月9日～14日、横浜市庁舎展示スペースB
- ・アンゴラ共和国大使と早渕中学校のオンライン交流：1月31日



《茅ヶ崎小学校3年生がボツワナ大使の
講義を受ける様子》



《茅ヶ崎小学校3年生が児童画展を
鑑賞する様子》

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供しました。

- ・「KANJI クラブ」：外国につながる子どものための学習補助事業（58回、参加登録者31人（小学生11人、中学生20人）、ボランティア登録者18人、オンライン併用）
- ・多文化共生セミナーの実施（8月20日、24名、オンライン併用、）
- ・日本語ボランティアの合同研修会の実施（6月20日・24日、9月16日・17日、オンライン併用）
- ・プラザまつりの開催（3月13日、オンライン）

2 外国人支援事業

区内在住外国人に向け、「防災ノート（ドイツ語版）」を作成し配布しました。

- ・東京横浜独逸学園への配布（400部、12月）
- ・ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2021 の専用HPへの掲載（11月25日～12月27日）

新型コロナウイルス
感染症対策による影響

- ・プラザまつりの会場開催を中止し、オンラインで開催
- ・その他の取組もオンラインを積極的に併用して実施

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	60 万円	46 万 9 千円	13 万 1 千円
<p>1 地元ファン層の拡大に向けた取組の実施</p> <p>区内の中学校と連携して、横浜ビー・コルセアーズの選手が参加するバスケットボール教室の開催検討や、横浜ビー・コルセアーズを応援する企画を実施し、地元ファン層の拡大を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール教室の開催：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・開幕カウントダウンボードの設置：8月3日～10月2日、区民ホール ・応援パネル展の実施：9月24日～10月4日、区民ホール ・広報よこはま都筑区版での紹介：12月 <p>2 都筑区応援 day の実施</p> <p>横浜ビー・コルセアーズと連携して都筑区応援Dayを設定し、本拠地である横浜国際プールで地域の皆様に試合の観戦機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都筑区商店街連合会や「GODAI DANCE STUDIO」と連携した取組を実施（12月26日） <p>3 商店街との連携支援</p> <p>横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地域活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター北まつり、北山田さくらまつりとの連携事業：新型コロナウイルス感染症の影響により中止 			
主な増減	商店街主催イベントが中止になったことによる印刷製本費の減		

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		445万2千円	306万4千円

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援しました。

- ・都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月19日）
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会
第1回 6月26日 参加者 14人
第2回 7月3日 （大雨警報発令のため、書面開催）
第3回 1月22日 （まん延防止等重点措置適用のため、書面開催）

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応するため、令和2年度に引き続き、3年度は9台の更新を進めました。

- ・南山田小学校、牛久保小学校、中川中学校、中川小学校、都筑小学校、中川西小学校、中川西中学校、茅ヶ崎東小学校、茅ヶ崎中学校

3 自治会・町内会等向けの防災・減災講演会及び出前講座の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて、区民や自治会・町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図りました。

- ・防災・減災講演会（オンライン開催） 3月4日 参加者 41人
テーマ：「あの日」の教えを明日のいのちを守る学びに
講師：かもん まゆ 氏（一般社団法人スマートサプライビジョン特別講師）
- ・出前講座：7回（自治会・町内会5、小学校2） 参加者 383人
講師：総務課防災担当職員

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、希望する地域に対して災害時要援護者名簿を提供しました。さらに、地域での活動が推進されるよう連合自治会町内会に対し、補助金を交付したほか、地域や関係機関と避難行動支援に関する意見交換の場を設けるなど、地域の実情に合った要援護者に関する活動等を支援しました。

- ・補助金交付地区：13 地区

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めました。

- ・ 2月16日（まん延防止等重点措置適用のため、書面開催）

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から作成した災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を活用し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発しました。また、感染症予防啓発のため作成した、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールについては新型コロナウイルス感染症にも対応した濃度で作成し、保育施設や高齢者施設等に配布し、感染症防止を図りました。

- ・ 災害時にも役立つBOOK：配布数 19,430部
配布先 自治会町内会、転入者、老人クラブ等
都筑区ホームページに掲載
- ・ 消毒液の作り方シール：感染症対応指導者研修（高齢者施設及び保育施設職員対象）
（9月）
感染症パネル展で配布（10月28日～11月1日）

7 災害時のペット対策事業

地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」の説明・支援を行いました。

風水害時開設避難所でのペット保管場所設置のための物品を用意しました。

- ・ 地域防災拠点取組支援
地域防災拠点運営委員会連絡協議会での啓発DVDの配付及びペット同行避難等の説明（5月19日）
地域防災拠点運営委員会等でペット同行避難等の説明（10拠点）
- ・ 風水害時開設避難場所ペット保管場所で使用する物品の購入
ブルーシート及び清掃道具 10施設分（6月）
- ・ 飼い主啓発
広報よこはま都筑区版9月号特集ページ（犬、猫のしつけ、ペット防災）、
啓発チラシの配架（動物病院17か所、ペットショップ3店舗）
ペット防災に関する啓発（動物愛護週間イベントで展示：9月21日～27日）
ハウスクエアでペット防災の啓発（3月3日～7日）
ペット防災講演会の開催（12月4日）

主な増減	都筑区災害時要援護者支援事業補助金の残
新型コロナウイルス感染症対策による影響	イベント等の縮小・中止による今すぐ取り組む健康づくり啓発の一部未実施

21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	1,260万2千円	1,174万6千円	85万6千円

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

- (1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行いました。
- ・災害対策連絡協議会 5月13日
 - ・帰宅困難者対策部会 11月9日
- (2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行いました。
- ・地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会 1月26日（WEB会議）
- (3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図りました。
- ・早淵川水防訓練：6月19日 大榎町内会エリア、中川小学校
参加者：22人（都筑消防団、都筑消防署、都筑警察署、都筑区役所）
（防災関係機関による情報受伝達訓練や防災スピーカー等による広報活動）
 - ・帰宅困難者対策訓練：12月8日 市営地下鉄中川駅、東京都市大学横浜キャンパス
参加者：45人（帰宅困難者一時滞在施設（11施設）、東急バス、横浜市交通局、都筑警察署、都筑消防署、都筑区役所）
- (4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図りました。
- ・区災害対策本部運営訓練 3月9日 63人

2 防災啓発事業の実施

- 発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくため、防災・生活マップ等を区民の方へ配布し、日頃から災害対策について理解を深めていただけるよう啓発を図りました。
- ・防災・生活マップ：13,000部増刷
 - ・土砂災害ハザードマップ：5,000部増刷

3 風水害対策等の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営を行うため、開設予定の避難場所に間仕切りを整備しました。（間仕切り：420枚）
- (2) 防災用スピーカーの整備
- ・防災用スピーカー1基増設（折本町西耕地公園）
 - ・防災用スピーカーの点検（12基）



《防災用スピーカー》

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一齐に電話で知らせるシステムを引き続き運用しました。

- ・緊急時情報伝達システムの受伝達訓練：6月4日 登録者数：161人

主な増減

iFAX 及び防災用携帯電話の実績による通信運搬費の減

22 安全・安心なまちづくり事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	978 万 2 千円	976 万 6 千円	1 万 6 千円

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施しました。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰しました。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行いました。

- ・交通安全運動期間中の街頭啓発活動：11回
- ・はまっ子交通あんぜん教室：
 - 11校（5月 4校、6月 4校、7月 1校、9月 1校、10月 1校）
- ・スクールゾーン防犯対策協議会の開催：
 - 24校（区内 22校＋区外 2校）（うち書面開催 14校）

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置しました（516回／年）。区域内放置自転車の台数は126台（前年比10台減）となりました（令和3年11月、道路局実態調査）。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援しました。

- ・防犯のための研修会 12月19日、大会議室、参加者 85人
 内容：「特殊詐欺」防犯啓発のための防犯演劇
 講師：はだ 一朗 氏（表現のチカラ代表）

23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	93 万 1 千円	92 万 9 千円	2 千円

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を実施しました。特に、小学校や社会福祉施設等を対象に、検査機器を用いて調理器具等の清浄度を数値化する衛生指導を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対象を絞り実施しました。一部の高齢者施設に対しては、eメールで衛生管理記録を確認する「リモート監視」を実施しました。

- ・拭取り検査を併用した衛生指導：小学校給食等 17 施設

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信しました。イベントや講座では、手洗い方法を示したクリアフォルダを活用した実技指導などにより正しい手洗い方法を周知しました。

また、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーを用いて、ノロウイルス食中毒や感染症予防についても周知しました。

- ・食中毒予防パネル展：5 回（区民ホール他）



2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施しました。

- ・猫侵入防止器の貸出：11 件
- ・ねずみ捕獲器の貸出：12 件
- ・ハチの巣駆除機器の貸出：5 件

(2) 区民が利用する施設の衛生確保の推進

検査機器を用いて、理美容所で使用する器具等の清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生管理指導を行いました。

- ・衛生指導：理容所・美容所 18 施設

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施しました。

＜動物愛護週間 9月20日～26日：環境省（動物愛護管理法第4条）＞

- ・区民ホールにて、ペット防災用品等の展示：9月21日～27日
- ・長寿ペット表彰：合計105頭
- ・飼い主セミナーの開催：9月24日
- ・ペット適正飼育講演会（ペット防災講演会として開催）：12月4日



＜＜ ペット防災用品等の展示、長寿ペット表彰 ＞＞

新型コロナウイルス
感染症対策による影響

健康福祉局の方針により、感染拡大防止のため社会福祉施設や区民が利用する施設の監視を控えたことから、拭取り検査を併用して衛生指導を行った施設数が減少

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 ハマロード・サポーター、 愛護会等活動推進事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	重点 拡充	478万9千円	429万6千円

1 ハマロード・サポーター事業

清掃等の美化活動の支援に加えて、各団体（47団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供しました。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展を開催しました。

- ・パネル展示：8月27日～9月2日、区民ホール

2 愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（152団体）及び水辺愛護会（3団体）の総会・幹事会等を運営支援し、パネル展やPR活動を実施しました。

公園の面積が広く、愛護会活動が活発な都筑区では、東方公園のほ場※において、愛護会向けの花苗などを生産し提供しました。またふじやとのみちに見本園兼ほ場としての花壇を増設しました。

※ほ場：草や花を栽培するための場所

- ・総会：7月3日
- ・パネル展：6月29日～7月6日、区民ホール、展示団体17団体

3 活動ステップアップ相談事業

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートのための技術講座を開催しました。

また、自転車の通行ルール・マナーのより効果的な周知・啓発のため、Web媒体を活用した啓発のためのアイコンを作成しました。

- ・技術講座（東方公園で実施 参加人数11人）

第1回：7月13日 夏の花壇の手入れ講座（除草、トリミングなど）

第2回：10月5日 秋の花を楽しむための手入れ講座（植物の整理など）

第3回：3月29日 春を迎える準備講座（施肥、土壌改良など）

講師：佐々木 知幸氏（造園家、ネイチャーガイド、樹木医）、金子 美萌氏

4 都筑^{りよくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催しました。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法の普及を支援しています。

・ナチュラルガーデン講座

回	開催日	参加人数	場所	内容
1	5月11日	16人	センター北駅～ふじやとのみち	周辺調査及び見本園の場所検討
2	6月8日	10人	ふじやとのみち	環境に適した植物の検討
3	10月19日	12人	ふじやとのみち	地拵えから植栽までの実習作業
4	11月16日	12人	ふじやとのみち	球根植付、看板作り、まとめ

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくため、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードや、活動に必要な道具や清掃用品を提供しました。

事業の案内は、土木事務所のホームページにも掲載しています。

主な増減

- ・ハマロード・サポーター事業について、夏期の活動が減少したことによる飲料水購入費の減
- ・愛護会活動推進事業について、活動が減少し既存の資機材を活用したことによる備品購入費の減

25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	R3 予算額	R3 決算額	増△減
		223 万 9 千円	138 万 2 千円
<p>1 SDGs 啓発</p> <p>エコッキングレシंप紹介、プラスチック問題や食品ロスなど環境問題の観点から SDGs について学ぶ SDGs 環境フェアパネル展を開催しました。(2月26日開催予定の SDGs 開催フェアは感染症拡大により中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs 環境フェアパネル展：2月24日～3月3日(3R夢週間と同時開催) <p>2 温暖化対策</p> <p>区庁舎に設置されている緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行いました。また、緑のカーテンの育て方マニュアルを作成し(5月)、普及啓発を行いました。</p> <p>3 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業</p> <p>(1) クリーン推進事業</p> <p>きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のゴミ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：80団体 <p>(2) ヨコハマ3R夢推進事業</p> <p>3R行動推進のため、つづき3R夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「つづきっこ読書応援団」との協働によるリユース図書の募集・配付などを行いました。</p> <p>食品ロス削減に向けて、資源循環局などと連携し取組を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> つづき3R夢週間パネル展・イベント：7月23日～26日、2月24日～3月3日(7月24日 区民ホールでイベント実施：啓発物品配布556人) 赤ちゃん会での3R夢啓発：9月～3月(13会場) リユース図書の配付：11月(16校1,750冊) フードドライブ常設実施：2月から開始(2月、3月：125点区社協へ提供) <p>4 都筑区地球温暖化対策・3R夢推進会議</p> <p>街の美化や3R夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢に関する情報を共有する会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰式(3団体、9個人)：5月28日 			
主な増減	<ul style="list-style-type: none"> SDGs 環境フェアイベントが中止になったことによる委託費の減 クリーン推進事業における地域清掃支援用ごみ袋の購入枚数見直し及び複数区で仕様を統一することによる購入単価の減 		

新型コロナウイルス
感染症対策による影響

SDGs 環境フェアイベントの中止

26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R3 予算額	R3 決算額	増△減
	51万5千円	28万2千円	23万3千円

1 都筑区花いっぱい運動の推進

(1) 花と緑の親しみづくりイベントの開催

区制 25 周年を契機に選定した「つづき みどりと花の名所 25 選」及び市民の森を巡るウォーキングイベントを令和元年度より開催しており、3年度は2回実施しました。

- ・つづき みどりと花のまち巡り：第7回 5月23日 65人参加
- 第8回 11月27日 56人参加
- 第9回 2月20日 感染症拡大により中止

《ウォーキングイベントの様子》



池辺市民の森



ささぶねのみち

(2) 「早淵川・老馬谷ガーデン (HRG)」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に取り組みました。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信しました。

主な増減	早淵川・老馬谷ガーデンにおける除草委託費の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	「第9回つづき みどりと花のまち巡り (2月)」の中止

令和 4 年度
都筑区自主企画事業の
執行状況について

令和 4 年 8 月 31 日
都 筑 区

目 次

令和4年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

1 街のにぎわいづくり事業 重点	1
2 文化活動支援・スポーツ振興事業	3
3 メイドインつづき推進事業	5
4 都筑 国際交流プログラム	6
5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	7

施策2 つながりと協働を育むまち

6 デジタル化推進事業 重点 新規	8
7 自治会・町内会支援事業 重点 拡充	9
8 区役所改善推進事業	10
9 広報・広聴事業	11
10 まちづくり総合調整事業	12
11 地域支援の種(たね)事業 拡充	13
12 市民活動・生涯学習支援事業 拡充	14
13 地域de育む青少年事業	15
14 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	17

施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち

15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	19
16 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	22
17 つづき健康づくりサポート事業 拡充	23
18 地域で支える高齢者支援事業	25
19 障害者交流啓発事業	26

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	27
21 安全・安心なまちづくり事業	30
22 危機管理対策推進事業	31
23 食と暮らしの安全推進事業	32

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 環境にやさしいまち推進事業	34
25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 拡充	36
26 ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業	37

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規事業は**新規**、と表記しています。

令和4年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

※ 第2回市議会議員会議資料より更新がある項目については下線が引いてあります。

施策1 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

	R4 予算額	R3 予算額	増△減
1 街のにぎわいづくり事業 重点	622万9千円	641万9千円	△19万円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第28回都筑区民まつり」を実施します。

- ・センター南駅及び都筑区総合庁舎周辺での会場開催（11月3日）

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会の皆様とともに区内の商店街の効果的な魅力発信方法について検討しながら、広報よこはまと連動した『つづきたいちゃん』のPRを実施します。

加えて、「商店街からのラブレター事業」を継続して実施するとともに、秋以降はインフルエンサー※を活用した SNSでの広報などを実施します。また、プロスポーツチームと連携した取組も行います。

※インターネット上において発言力があり、他人の行動等に影響を与える人物のこと

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の広場を会場に、「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2022」を都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。会場で開催するとともに、オンラインでドイツの文化を紹介し、相乗効果を図ります。

- ・会場開催（12月3日、4日 センター北駅前芝生広場）

ドイツやクリスマスに関連するステージや出店、体験ブースを実施します。



《第 25 回都筑区民まつり（元年度）》 《ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2019》

【区配事業】 商店街活性化イベント助成事業（経済局）
商店街が実施するイベントに対し補助します。

【新規補助事業】 商店街集客力促進事業補助金（経済局）
新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により集客が落ち込んでいる商店街等
が、消費喚起や個店の事業継続に向けて、市内外からの集客と販売促進を目的として
行うイベントや広報活動の経費を補助します。

2 文化活動支援・スポーツ振興事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	262万9千円	262万9千円	0円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

(1) キャッチフレーズ「GO TO TSUZUKI ～交流と憩いの祭典～」

(2) ポスターデザイン画募集：7月～9月上旬

(3) 参加者募集：9月～10月下旬

(4) 第27回都筑区民文化祭：1月21日～2月5日

・オープニングセレモニー：1月21日、都筑公会堂

・展示部門：1月21日～2月5日、区民ホール

・舞台部門：1月22日、28日、29日、2月4日、5日、都筑公会堂

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行い、区民大会などのスポーツ活動や区民の皆様の健康増進等を支援します。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図るため、マラソン大会の開催を支援します。

なお、これまで緑道をコースに活用してきましたが、生活道路である緑道の利用者と大会参加者双方の安全性を確保する観点から、これを見直します。

今年度は開催を中止し、安全で持続可能な大会のあり方について検討します。

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

第2期「都筑区読書活動推進目標」（令和元年度から5年度まで）に基づき、「みゃーごとちゅーずのおでかけ図書館」や「つづきブックフェスタ」等の事業および読書活動推進に関する懇談会を実施し、区内の読書活動を推進します。

- (1) おでかけ図書館：図書館と連携して区内施設に出向いて行う読書活動（4月～3月、5箇所、参加者数80人（7月末現在））
- (2) つづきブックフェスタ：市民団体、図書館と協働で実施する読書イベント（11月17～19日、区民ホール等）
- (3) 読書懇談会：6月、3月、区役所会議室（自治会・学校関係者等）

6 パラスポーツ関連イベントの開催支援

パラスポーツの普及啓発につながる講演会や体験イベント等の開催を支援します。

【区配事業】 横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

3 メイドインつづき推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	579 万 6 千円	582 万円	△2 万 4 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 中小製造業支援

(1) 技術展示会出展支援

メイドインつづき参加企業に対し、神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置を行います。

また、企業紹介冊子の作成等を行い、参加企業の販路拡大を推進します。

- ・テクニカルショウヨコハマ 2023

会場展示：2月1日～3日、パシフィコ横浜

Web サイト内展示：1月10日～2月28日

(2) 事業PRイベント

メイドインつづき参加企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、各企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力発信を行います。

- ・こうじょうのキラキラ 2022：8月1日～3日、参加者 171 人、区民ホール

- ・企業紹介パネル展：7月29日～8月4日、区民ホール

2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の定期開催（概ね月4回）、都筑野菜グルメスタンプラリー（10月～1月）、都筑野菜マルシェセットの貸し出し、都筑野菜の認知度向上のための取組を通じて、地産地消を推進します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や都筑野菜を楽しむためのクッキング動画を作成・公開しています。（6月、9月、12月、3月）

【区配事業】ものづくり魅力発信事業（経済局）

若手を中心とした人材の確保・育成につなげるため、局と連携して地域の中小製造業の魅力を発信し関心を高め、地域経済の活性化を進めます。

【区配事業】身近に農を感じる地産地消の推進事業（環境創造局）

農産物直売所の整備等を支援するとともに、市内で生産される苗木や花苗の配布、地産地消に関わる情報の発信など、地産地消を身近に感じる取組を推進します。

4 都筑 国際交流プログラム	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	193万5千円	203万円	△9万5千円

外国人及び日本人が共に安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。
また、ボツワナ共和国などアフリカとの交流を発展的に継続していきます。

1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)」に以下の事業の運営を委託します。

(1) 在住外国人支援・国際交流事業

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行います。外国人に分かりやすく情報を伝えることができるよう、日本人向けに「やさしい日本語」講座を開催します。(日本語ボランティア向け(9月4日・オンライン)、公共施設職員向け(9月5日・つづきMYプラザ及び区役所)、自治会町内会向け(9月11日・つづきMYプラザ及びオンライン))

また、都筑・ボツワナ交流児童画展等、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

- ・国際理解教室(ボツワナ大使出席): 6月24日、茅ヶ崎小学校
- ・児童画展の開催: 11月～3月

(2) 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

- ・「KANJI クラブ」: 外国につながる子どものための学習補助事業(週1回程度、オンライン併用、参加者28人(小学校11人、中学校17人)、ボランティア18人)
- ・多文化共生セミナーの実施(8月19日、オンライン)
- ・日本語ボランティアの合同研修会の実施
- ・プラザまつりの開催(3月12日)

2 外国人支援事業

防災ノート(多言語版及び昨年度区独自で発行したドイツ語版)を活用し、イベント等で配布することで、区内在住外国人に向けた防災対策を支援します。

【区配事業】外国人材受入・共生推進事業(国際局)

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

5 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 千円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りを支援するとともに、チームの協力も得ながら事業を展開することにより、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元ファン層の拡大に向けた取組の実施

地域の皆様や横浜ビー・コルセアーズとの連携により、街全体を巻き込んだPRの充実を図ります。また、応援パネル展の開催やカウントダウンボードの設置を行うとともに、コーチなどチームスタッフの知識や経験を活かした区民の皆様の健康づくりに資する取組等を実施することにより地元ファン層の拡大を目指します。

(1) 応援パネル展：9月22日～10月5日、区民ホール

(2) 健康づくりの取組：8月～

(3) バasketボール教室：7～8月、仲町台・北山田地区センター

(4) 保育所へのBasketゴール贈呈：6月30日、みどり保育園

2 都筑区応援dayの実施

区民の皆様により関心を持っていただくため、ホームアリーナである横浜国際プールでの試合日の中で観戦の機会を提供する「都筑区応援day」を実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地域活性化を図ります。



《都筑区応援dayの様子》

施策2 つながりと協働を育むまち

6 デジタル化推進事業 重点 新規	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	200 万円	0 円	200 万円

DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するため、令和3年8月に「都筑区役所デジタル化推進宣言」を策定しました。その宣言に基づき、ICT環境の整備を図り、区民サービス向上や業務効率化につなげます。

1 デジタル化推進事業

1階一部エリア及び2階フロアについて、インターネット接続用無線 LAN 環境（公衆無線 Wi-Fi）を整備することにより、待ち時間のストレス緩和など、区民満足度の向上を図ります。

WEB 会議用の端末、WEB 会議ソフト等を拡充し、業務効率化を図ります。

- ・インターネット接続用無線 LAN 環境の整備（8月）
- ・WEB 会議用の端末、WEB 会議ソフト等を拡充（9月）

○都筑区役所デジタル化推進宣言

都筑区役所では、デジタル技術等を活用し、区民サービスの向上と事務の効率化を推進するため、次の事項に取り組みます。

- 1 Web による会議、講座、講演会の開催を積極的に進めます
- 2 申請者の負担軽減と手続の効率化を図るため、各種補助金の申請事務の電子化を進めます
- 3 区役所内部の会議、打合せを原則、ペーパーレスで行います

【局事業】区役所デジタル化推進事業（デジタル統括本部）

区役所職員の柔軟な働き方改善のため、庁内 LAN 回線を無線で利用できる環境整備、ファイルサーバー環境の改善に取り組みます。

【参考】横浜 DX 戦略

本市では、「デジタルの恩恵をすべての市民、地域に行きわたらせ、魅力あふれる都市をつくる」ことを基本目的とした「横浜 DX 戦略」の策定を進めています。

7 自治会・町内会支援事業 重点 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	526 万円	379 万 7 千円	146 万 3 千円

自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会加入促進

地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会自治会等と連携しながら行います。

【取組 1】

- ・転入者を対象としたアンケートの実施による意識調査・分析の実施
(アンケートの実施：6月～10月、分析・報告書の作成：11月～2月)
- ・アンケート回収時における窓口での区役所職員による加入勧奨の実施（6月～10月）

【取組 2】

- ・区役所による入会相談・入会取次の実施
- ・未加入世帯、未設立・新築マンションへの働きかけ
- ・転入手続時の自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・区内各駅や施設等での自治会町内会活動紹介冊子の配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・加入促進のためのトートバッグの作成（12月）
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ

2 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

3 自治会町内会への情報提供

都筑区連合町内会自治会（以降、区連会）定例会資料を、8月と12月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載します。

【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行います。

【区配事業】自治会町内会館整備費補助事業（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行います。補助メニューは、新築・増築・改修・修繕で、整備費の2分の1を補助します。

8 区役所改善推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	1,204万3千円	1,205万7千円	△1万4千円

区民満足度の向上のため、来庁者の皆様が利用しやすい窓口サービスを提供する等、様々な取組を推進します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 人権意識の向上を目的として、区民の皆様及び職員を対象とした人権啓発講演会を実施します。(1月)
- (2) 区職員からの提案をもとに窓口サービス等の改善を実施します。

2 区庁舎環境改善

区民の皆様が快適に利用できるよう、区庁舎の環境改善や整備を行います。

3 税理士による確定申告受付事業

確定申告の期間中（2月16日～3月15日）の10日間、区民の皆様身近な区役所において、専門知識を持つ税理士の協力を得て確定申告（医療費控除の還付申告）に係る申告書の作成支援・受付を行います。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。（配置時間：8時45分～17時）

また、お子さま連れのお客様が安心して区役所を利用できるよう、待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供します。

【区配事業】市役所RE100推進事業（温暖化対策統括本部）

2030年までに公共施設のLED化100%を目指した取組を進めています。その一環として、都筑区総合庁舎も、令和3、4年度にLED化工事を実施します。

9 広報・広聴事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	235万9千円	229万1千円	6万8千円

区民の皆様に積極的に区政情報の提供を行い、区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。

また、広聴事業により、多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

さらに、関心の高い新型コロナウイルス感染症に関する情報については、引き続き速やかに発信していきます。

1 インターネット広報

区ホームページや SNS（ツイッター、LINE）を活用し、区政情報や各種イベント情報の発信、オープンデータの提供などを行います。また、新型コロナウイルス感染症に関する情報をタイムリーに発信します。

2 PRボックス

毎月1日、全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示します。

また、毎月10日に広報印刷物の補充を行い、イベント・お知らせ等を周知します。

このほか、区内の郵便局やセブン-イレブンの店舗でも広報紙を配布します。

3 都筑区ハンドブック発行事業

区役所の業務案内や区内の施設情報などを掲載した「都筑区ハンドブック」を発行し、区内に転入された方などへ配付します。（3月、10,000部）

4 主要事業の広報

広報よこはま都筑区版（5月号）や区民ホールでのパネル展示（5月26日～6月1日）、希望する地区連合自治会町内会への説明又は資料提供（4月～6月、10連合）により、区の主要事業の広報を行いました。

5 広報研修

より効果的な広報を実施するため、主に広報よこはま都筑区版に携わる区職員を対象とした研修を実施します。

6 地域との意見交換会

区民の方や区内で活動する団体等の方との意見交換の場を設け、課題や地域ニーズの把握に努めます。

10 まちづくり総合調整事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	284万5千円	284万5千円	0円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。

また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議：6月6日）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会：2月）等を行います。

(2) その他企業との連携

区内企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行います。



《地域連携調査研究発表会の様子》

2 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

令和6年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、整備の進捗等を紹介する「区民文化センターニュース」の発行（10月）や、整備事業者と連携した区民向けコンサートを実施します。（11月）

また、区民文化センターに設置する緞帳のデザインについて、地域代表、有識者の方々から助言をいただく場として、緞帳デザイン検討会を開催します。（8月、12月）

〈完成イメージ〉



《センター北駅側から区民文化センターを見た様子》



《ホールの様子》

※こちらのイメージパースは、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。

11 地域支援の種（たね）事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	147万6千円	119万1千円	28万5千円

地域の特性や現状を踏まえ、地域が抱える個別課題の解決に向けた具体的な支援を行い、区民の皆様の自助共助の取組を下支えすることで、地域運営の総合力を高めていきます。

1 コミュニティ応援アドバイザー派遣事業

自治会町内会等を対象に、個々の地域課題に対応したアドバイスを行う専門家「コミュニティ応援アドバイザー」を各地区に派遣する回数を増やし、地域の実情に応じた個別具体的な支援で課題解決を促します。（1地区あたり上限3回、延べ12回）

また、令和4年度の新たな取組として、(公財)横浜市シルバー人材センターとの連携により、シニア層の経験と能力を活かした地域支援の事例づくりを目指し、シニアの専門人材を活用したアドバイスも実施しています。

- ・募集開始：5月20日（対象は地区連合町内会自治会・単位自治会町内会 計138団体）
- ・申込受付：3地区 延べ9回
- 内 派遣実施済み：1地区 2回（6月17日、7月24日）（7月末時点）

2 NPO法人情報誌「tsuzuki ANCHOR」の発行

区内のNPO法人が大切にしていること、特徴や日頃の活動の様子、地域とのつながりなどを紹介した情報誌を発行し、自治会町内会や地区社会福祉協議会、各種委嘱委員等、協働の地域づくりに携わる団体との連携を促します。

4年度はSNSの発信も実施します。

（6月、10月、2月発行、各号8,000部）

- ・第4号の発行、Twitter、PIAZZA、LINEでの発信（6月）



《tsuzuki ANCHOR》

12 市民活動・生涯学習支援事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	300万7千円	284万4千円	16万3千円

市民活動・生涯学習支援のために、活動のきっかけづくりや活動の支援、市民団体の育成を図ります。また、市民活動の担い手や施設の連携・交流が更に進むように取り組みます。

1 講座

市民活動のきっかけづくりや市民団体のスキルアップを目的に講座を開催します。

- (1) 市民活動の担い手づくり講座(大人の部活動) (連続講座：7月～9月、全5回、区役所会議室、参加者 25人)
- (2) 女性の活躍支援講座(輝く女性応援プロジェクト) (11月、区役所会議室)
- (3) 市民団体のスキルアップ講座(縁ジンミーティング) (8月9日、参加者 13人、12月、区役所会議室)
- (4) 市民ライター養成講座(連続講座：6月～11月、全8回、区役所会議室、参加者 10人)

2 交流会

区民の皆様や市民団体、区民利用施設同士の連携・交流の促進を目的に、交流会を開催します。

- (1) 区民同士の交流会(つながりカフェ) (5月17日、8人、9月15日、11月、区役所会議室)
- (2) 市民活動の活動発表、交流会(つづき人交流フェスタ) (3月、区民ホール)
- (3) 区民利用施設情報交換会(7月12日、30施設、区役所会議室)

3 広報紙

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙「縁ジン」を発行するとともに、ホームページやSNSを活用して情報を発信します。

(10月・1月発行、各7,000部)

4 補助金

市民団体が行う公益性の高い事業に補助金を交付し、事業終了後は報告会を開催します。
(6月審査会で6団体への交付を決定、年度末に報告会を実施)

5 区民活動センター利用促進事業

区民活動センター予約システムや、オンライン相談窓口の活用により、区民活動センターの利用促進を図ります。(4月～6月のシステム予約率43%(258件/596件)(4月～6月のオンライン相談：1件)



《輝く女性応援プロジェクト》



《つづき人交流フェスタ》

13 地域 de 育む青少年事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	98 万 3 千円	104 万 1 千円	△5 万 8 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。(年2回)

・7月17日(会場とウェブ会議システムの併用)参加者57人(会場26人、Zoom31人)

テーマ：消費トラブルについて 講師：飯田 学史 氏(弁護士)



《青少年支援者育成講座》

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。(参加者246人、体験先55コース)

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。(参加者81人、体験先26コース)

(1) (2) 共通の今後の予定

- ・オリエンテーション：7月22日～25日、全6回、区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、つづきMYプラザ
- ・ボランティア体験：7月27日～8月19日、区内各所(屋外中心)
- ・振り返り・修了証授与：8月20日、21日、都筑区役所



《はあと de ボランティア》

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。

なお、フェスタについては、青少年の文化活動映像の放映や緑道マップ・イラストの展示等による“バーチャル”開催とします。

実施日：11月23日（フェスタ開催日11月20日～26日、区民ホール）



《つづきウォーク&フェスタ》

【区局連携促進事業】青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

青少年の地域活動拠点において、「ひきこもり」をはじめとした青少年を取り巻く様々なリスクについて、発生する前又は早期の把握に努め、必要な支援に繋がられるよう、地域人材・支援団体との連携体制の構築・強化に取り組みます。

【区配・局事業】青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

14 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	356万1千円	373万7千円	△17万6千円

令和2年度に策定した第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 地域懇談会の開催

第4期計画推進にあたり、地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合町内会自治会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

・地域懇談会開催済地区：4地区（勝田茅ヶ崎、新栄早渕、川和、茅ヶ崎南 MGCRS 地区）

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。また、地域活動の担い手確保につなげるため、マンガ版「やさしいちふく」（仮称）を発行し、子どもや子育て世代を対象に冊子を配付します。

(2) 第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。

・職員向け計画説明会：4月26日、28日

・職員向け研修：10月11日、1月30日

3 地域福祉保健活動補助金

地域での福祉保健活動の活性化や取組支援を進めるため、都筑区社会福祉協議会の運営する「つづき あい基金」助成金への補助を行います。

・「つづき あい基金」助成団体：3団体4事業

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

地域の状況やテーマなどに応じて、必要な人に支援が届く地域の仕組みづくりや柔軟なネットワークづくりについて、地域ケアプラザと連携し、各地域の支えあい連絡会等の場を活用して検討を進めます。

5 計画情報誌の発行

第4期計画を推進する各地域の取組状況等の情報を区全体で共有し、活動の活性化等を図るため、地域福祉保健計画情報誌「つづき あい通信」を発行します。

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

第4期計画の推進状況やその方向性、地域の取組について学識経験者や区民の皆様による意見交換を行うため、都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催します。

また、併せて地域福祉保健の分野ごとの取組状況や課題の共有を行うため、子ども・青少年、高齢者、障害者、健康づくり及び生活困窮の各分野における意見交換会を開催します。

7 「つづき あいフォーラム」の開催

第4期計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

・つづき あいフォーラム：2月18日、都筑公会堂

・パネル展：2月16日～22日、区民ホール



《地域懇談会》



《つづき あいフォーラム》



《計画本冊子》



《地区別計画冊子》



《都筑区地域福祉保健計画啓発バージョン「つづき あい」》

【局事業】地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局）

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、行政、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、第4期横浜市地域福祉保健計画（計画期間平成31年度～令和5年度）を推進します。

施策3 いきいきと健やかに暮らせるまち

15 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
		1,242万8千円	962万円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センターPopo1a（以下ポポラ）及びポポラサテライト会場で実施します。

両会場とも月1回実施し、安定期に入り初めて出産を迎える妊婦とパートナーがタイムリーに受講できるようにします。

- ・ポポラ：毎月第4土曜日、4回実施、参加者数延べ48組（7月末時点）
- ・ポポラサテライト：毎月第2土曜日、4回実施、参加者数延べ31組（7月末時点）



《休日両親教室の様子》

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室について、令和4年度から会場数を拡大するなど実施回数を増やし、仲間づくりや育児相談をします。

61回開催、参加者数延べ775人（7月末時点）



《赤ちゃん会の様子》

3 外遊び広め隊事業

区内の子育て支援の団体・関係者や乳幼児の親子を対象に、外遊びの大切さを伝え、自主的に外遊びを継続していけるような研修会を区内の公園等で開催します。また、地域の外遊び団体を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。

- ・外遊び研修会：10月頃
- ・外遊び連絡会：1月

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修(子育てネットワーク会議)及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

- ・子育てネットワーク会議：第1回5月25日参加者25人、第2回2月
- ・子育てネットワーク交流会：12月頃

5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、育児に対する悩みや現在の心情を心理士が傾聴し、助言を行います。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。

- ・2歳児講座：第1回8月17日参加者16人、第2回12月

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小中学生を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。また、送迎の必要がある児童等の支援を行います。(原則毎週火曜日)

- ・川和町内会館、参加者数延べ51人（7月末時点）

8 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会（動画配信を含む）や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～（講演会及び情報交換会）：9月10日、都筑区役所

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

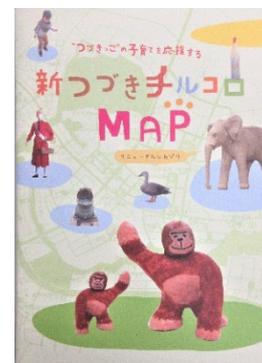
小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切に
する気持ちを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の市立小学校で実施し
ます。(9月～2月)

10 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の
気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の市立中学
校の生徒を対象に実施します。

11 区民による子育てマップの作成（つづきチルコロMAP）

区民の皆様から寄せられた外遊びや公園等の情報を掲載した
子育てマップ（つづきチルコロMAP）をポポラと協働して更新
し、発行します。（3月、12,000部）



《新つづきチルコロマップ（2年度作成版）》

【区配事業】両親教室（母子保健指導事業）（こども青少年局）

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために両親教室（1コース3回/月）を実施します。

【区配事業】児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課職員を対象にした人材育成のための職員研修を2回、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした関係者向け講演会を1回実施します。

【区配事業】放課後児童育成事業（こども青少年局）

すべての子どもたちに豊かな放課後を過ごせる場所と機会を提供するとともに、増加する留守家庭の子ども達の居場所を充実させるため、小学校施設を活用した放課後キッズクラブや放課後児童クラブ（学童）の運営を支援します。

【区配事業】寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

養育環境に課題がある世帯の子どもとその保護者を対象に、生活指導による日常生活習慣の改善や、学習支援による学力定着を図るための支援を行います。

16 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	341 万 5 千円	323 万円	18 万 5 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにします。

- ・ 4園計 272 回実施、参加者延べ 1,843 人（7月末時点）

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日に園庭を開放します（8月を除く）。

- ・ 2園計 8 回実施、参加者延べ 203 人（7月末時点）

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食や離乳食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言します。

- ・ 4園計 12 回実施、参加者延べ 43 人（7月末時点）

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施します。

- ・ Aエリア（仲町台周辺）：11月1日　せせらぎ公園
- ・ Bエリア（中川・北山田周辺）：11月9日　滝ヶ谷公園
- ・ Cエリア（茅ヶ崎周辺）：10月27日　都筑中央公園
- ・ Dエリア（池辺町、川和町周辺）：9月16日　都田小学校コミュニティハウス
10月18日　みどり保育園園庭

5 積木交流

市立保育所にある合計2万個の積木を使い、地域の親子が参加できる育児講座を開催するなど、「つみきのつづき」を広めていきます。

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局）

市立保育所では、民間保育所や幼稚園を含めた施設や人材を保育資源ととらえ、地域の子育て支援を推進するとともに、各保育資源が連携して保育資源全体の保育の質の維持・向上を図っています。市立保育所が核となり地域の親子に対する仲間づくりや身近な相談ができる環境の提供などに努めます。

【区配事業】認定こども園及び保育所地域子育て支援事業（こども青少年局）

保育所の地域子育て支援事業として、市立保育所や、民間認定こども園・保育所で園庭開放を実施します。

17 つづき健康づくりサポート事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	219万3千円	284万1千円	△64万8千円

区民の皆様の自主的な健康づくりを支援するため、保健活動推進員、食生活等改善推進員等との協働により生活習慣病やがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

生活習慣病やがんについて、さまざまな機会をとらえ、チラシやリーフレットを活用した啓発を行います。

また、ウォーキングポイント事業を普及し、区民の皆様の運動習慣の向上・継続を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象に、ウォーキング講座を開催します。

- ・ 3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：8回
(7月末時点)
- ・ 食育・健康フェアにおけるがん啓発（6月11日）
- ・ 保健活動推進員等健康づくりリーダーを
対象としたつづけるウォーキング講座（10月）



《食育・健康フェアにおけるがん啓発》

2 食育推進事業

15歳未満の人口割合が高い区の特徴に応じ、子どもたちが将来にわたり健全な食生活を送ることができるよう小中学校・保育園等と連携し、情報交換会やイベントを実施します。

また、子育て支援施設での食事相談にあわせて、養育者の関心が高い乳幼児期のむし歯予防や歯磨きに関する歯科相談を実施します。

- ・ 食育・健康フェア：
パネル展（6月8日～14日）、イベント（6月11日）
- ・ 子育て支援事業会場における相談：
食事10回・歯科1回（7月末時点）
- ・ はじめての離乳食：3回（7月末時点）
- ・ 食育情報交換会：第1回 7月15日



《食育・健康フェアにおける
野菜スタンプワークショップ》

3 地域の健康づくり応援事業

連携・協力を促し地域の健康づくり活動の充実を図るため、保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や各推進員の合同の研修会を行います。

- ・ 保健活動推進員・食生活等改善推進員合同研修（10月）

4 健康づくりネットワーク事業

生涯にわたる健康づくりを推進するため、保健活動推進員や食生活等改善推進員、医師会・歯科医師会、地域ケアプラザ等の関係機関・団体と情報交換・意見交換を行います。

5 こどものお口の健康事業

歯みがきに対する不安が大きい1歳児と養育者に対して、歯みがきの方法やむし歯予防の知識や手法を伝えるための教室を開催します。

また、乳幼児時期から学齢期における、食べる・話す・呼吸するなどの機能が十分に発達していない「口腔機能発達不全症」について、専門職の指導力を強化するため、歯科医師会と連携して、歯科医師、歯科衛生士、栄養士等を対象にした研修会を開催します。

・1歳児の歯みがき教室

区役所会場：1回、出張会場：2回（7月末時点）

・口腔機能発達不全症研修（11月）

6 健康情報提供事業

来庁者の皆様が健康づくりに関心を持つよう、保険年金課待合スペースで取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等を引き続き実施します。

【区配事業】がん検診・特定健診啓発事業（健康福祉局）

乳がん検診推進月間にパネル展の実施、ピンクリボンやチラシ配布等による啓発を行うなど、さまざまな機会をとらえてがんの知識や健診について啓発を実施しています。

18 地域で支える高齢者支援事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	53万4千円	81万3千円	△27万9千円

高齢者が住み慣れた地域で、互いに支え合いながら、自分らしく安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに、地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム（9月10日）

認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供し、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。

(2) 認知症サポート連絡会（月1回）

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。



《令和3年度認知症フォーラムの様子（認知症当事者と認知症サポート医の講演をオンライン併用で実施）》

2 認知症人材育成事業

地域で認知症についての理解を深める活動に携わる人材（キャラバンメイト等）を育成するための講座を実施します。

3 福祉保健情報提供事業

高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」や介護予防に関するパンフレット等を発行し、窓口等で配布します。

- ・主な配布場所：区役所、区民活動センター、
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ



《都筑区シニア利用施設マップ》

19 障害者交流啓発事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	110万2千円	115万2千円	△5万円

障害があっても住み慣れた地域で生活していけるように、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。

※障害児・者による芋の収穫体験は、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ、令和4年度は中止。

2 障害者地域啓発事業

(1) 区民まつり福祉バザー（11月3日）

地域住民が参加する区民まつりにおいて、障害者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会とします。

(2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援（9月～2月）

障害者が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内において障害者施設が自主製品の販売活動を実施しています。この活動について区民の皆様への周知を支援します。

《区民ホール 販売の様子》



施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
		489万6千円	445万2千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月25日）
- ・地域防災拠点運営委員研修会
第1回 6月25日 参加者16人
第2回 7月3日 参加者16人

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応します。令和2、3年度に引き続き9台の更新を進めることで、都筑区内全27拠点の整備が完了します。

3 自治会・町内会等向けの防災・減災講演会及び出前講座の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて、区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し防災・減災に関する意識啓発を図ります。

- ・出前講座：3回（自治会町内会1、小学校1、その他1） 参加者76人
講師：総務課防災担当職員



《出前講座の様子》

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

地域の実情に合った要援護者支援に関する活動等を支援します。

3年度に実施した自治会町内会を対象にしたアンケート調査結果等も踏まえ、災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、地域の取組を支援します。

支援の一環として、災害時要援護者名簿の提供を推進するとともに、地域での活動が推進されるよう連合町内会自治会に対して、補助金を交付します。また、地域と地域ケアプラザなどの関係機関が、要援護者の避難支援に関する意見交換を行う場を設けます。さらに、取組の必要性や取組例を紹介する冊子を作成します。

・補助金申請地区：9地区

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

6 今すぐ取り組む健康づくり

災害の備えを促すため、健康づくりの観点から作成した「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子「災害時にも役立つBOOK」を増刷し、自治会町内会や地域防災拠点等で広く区民の皆様に配布します。あわせて様々な機会をとらえて啓発します。

・災害時にも役立つBOOK

配布部数：26,940部（7月末時点）

配布先：自治会町内会、転入者、乳幼児健診受診者、地域防災拠点運営委員長等

・出前講座「災害時に役立つ口腔ケア」34名（5月26日）

7 災害時のペット対策事業

災害時のペット避難について、飼い主一人ひとりが適した方法を自ら考えられるよう、飼い主向け講演会や「我が家のペット防災パネル展示会」を実施し、飼い主に対する啓発を進めます。また、地域防災拠点においてペット同行避難訓練を実施していただけるよう、ペット防災のスターターキット（受付物品等）を配布するなどして各拠点の取組を支援します。

・地域防災拠点取組支援

地域防災拠点運営委員会連絡協議会でペット同行避難等の説明
（5月25日）

地域防災拠点運営委員研修会でペット同行避難等の説明
（6月25日、7月3日）

・飼い主啓発

広報よこはま都筑区版9月号特集ページ（ペット防災：震災時・風水害時）

我が家のペット防災パネル展示会（動物愛護週間イベント：9月21日～27日）

ペット防災講演会（9月23日、11月27日、2月9日）

【局事業】 地域の防災担い手育成事業（総務局）

町の防災組織のメンバーや地域防災拠点運営委員を対象に、防災・減災推進研修や地域防災拠点運営研修を実施し、地域の防災活動の担い手となる人材を育成します。

また、地域で実施する自助・共助の取組に対して、地域特性に応じた支援を実施します。特に、近年頻発する風水害では、全国各地で逃げ遅れにより大切な命が失われるなど甚大な被害が毎年発生していることから、マイ・タイムラインの配布や作成方法を学ぶ研修など、地域住民一人ひとりが風水害に対して具体的に備えられるように、関係区局と連携した支援を実施します。

さらに、市内唯一の体験型施設である横浜市民防災センターと連携し、広く市民を対象にしたテーマで防災・減災の知識を深める「防センアカデミー」を実施します。

【区配事業】 地域の防災担い手育成事業（総務局）

地域の実状に合わせた研修プログラムや講演会の実施、啓発事業等により、地域防災の担い手の育成や、町の防災組織を中心とした自助・共助の取組の推進を図ることで、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

21 安全・安心なまちづくり事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	958 万 3 千円	978 万 2 千円	△19 万 9 千円

交通安全啓発・スクールゾーン協議会支援等交通安全運動、及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の皆様の安全で安心なくらしを実現するため、防犯活動を支援します。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係機関・団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

- ・交通安全運動期間中の街頭啓発活動：実施6回、予定5回
- ・はまっ子交通あんぜん教室：
 - 9校（5月 1校、6月 5校、7月 1校、10月 1校、11月 1校）
- ・スクールゾーン・防犯対策協議会の開催
 - 24校（区内22校+区外2校）6月9校・7月7校開催、9月～11月8校開催予定

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。（141回：第一四半期実績）

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

- ・防犯研修会：10月16日 大会議室

【区配事業】地域防犯活動支援事業（市民局）

防犯に関する物品などを自治会町内会等に配付することにより、地域での防犯活動を支援します。

【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

放置自転車等が多い駅周辺にマナーアップ監視員を配置し、放置自転車等の抑制とマナーアップを図ります。

22 危機管理対策推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	976 万 5 千円	1,260 万 2 千円	△283 万 7 千円

河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生した想定の大災害医療対策訓練などの各種訓練を通じ、関係機関等との連携を図ります。また、災害時に迅速かつ的確な情報収発信するための運用を整備します。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

- ・災害対策連絡協議会（5月9日）

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。

- ・鶴見川水防訓練（6月19日）

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。



《帰宅困難者対策訓練》

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくため、防災・生活マップ等を区民の方へ配布し、日頃から災害対策について理解を深めていただけるよう啓発を図ります。

3 風水害対策等の推進

(1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難場所運営を行うため、間仕切りや手指消毒用アルコールなどの消耗品を使用状況に応じて補充します。

(2) 防災用スピーカーの安定した運用を行うため、区役所設置の放送制御装置の機器更新を行います。また、鶴見川及び早淵川沿いに設置した防災用スピーカーの放送設備についても、順次更新をしました。（6月）



《防災用スピーカー》

4 災害時における情報収集及び情報発信

(1) デジタルホワイトボードを導入し、区本部体制設置時はICT技術を活用して各種防災情報の収集や被害状況等を集約・共有することで、区本部体制の充実強化を図ります。

(2) 災害発生時や災害発生が見込まれる際、緊急時情報伝達システムを活用し、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

- ・緊急時情報伝達システムの受伝達訓練（6月3日）

【局事業】高潮・洪水ハザードマップ作成事業（総務局・環境創造局）
浸水ハザードマップを全世帯・全事業所に、印刷・配布しました。（8月）

23 食と暮らしの安全推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	78万8千円	93万1千円	△14万3千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、大量に調理を行う学校給食施設、テイクアウトやデリバリーを行う飲食店については、調理器具や従事者の手指等の拭取りを行い、検査機器を用いて清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生指導を行います。

・検査機器を用いた衛生指導：小学校給食等 22 施設

(2) 食の安全に関する情報発信

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。イベントや講座では、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーや食中毒予防リーフレットを用いて、ノロウイルスをはじめとした食中毒や感染症予防について周知します。

・食中毒予防パネル展：6月8日～14日、

・食中毒予防キャンペーン（都筑区食品衛生協会と協力し、実施）：7月27日

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、ねずみ、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

・猫侵入防止器貸出：9件

・ねずみ捕獲機の貸出：3件

・ハチの巣駆除機器の貸出：7件

(2) 区民が利用する施設の衛生確保

CO₂濃度測定器を用いて、理美容所等の換気状態を数値化することにより、わかりやすい衛生管理の指導を行います。

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、区民まつり等において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

<動物愛護週間 9月20日～26日：環境省（動物愛護管理法第4条）>

・ペット防災用品等の展示：9月21日～27日

・長寿ペット表彰（大型犬（13歳以上）、中小型犬（15歳以上）、猫（17歳以上））

・飼い主セミナーの開催：9月22日

【区配・局事業】食の安全確保事業（健康福祉局）

食品関係施設への監視指導等により食中毒や違反食品の流通を防止するとともに、食品の適正表示を推進して食の安全・安心を確保します。

- ・食品関係施設に対する監視指導
- ・eラーニングによる講習会の実施
- ・検査による違反食品等の排除（残留農薬、アレルギー、食品添加物等）

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 環境にやさしいまち推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	136 万 9 千円	223 万 9 千円	△87 万円

「SDGs の達成につながる取組」、「温暖化対策」及び「3 R 夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 SDGs 啓発

親子向け体験型ワークショップ、食品ロス・プラスチック問題の解決に向けたきっかけづくり、家庭で取り組む3 R 行動の紹介等を通して、地球温暖化や環境問題の観点からSDGs について学ぶSDGs 環境フェアを開催します。

- ・SDGs 環境フェアパネル展・イベント：2月26日～3月2日（3 R 夢週間と同時開催）

2 温暖化対策

区庁舎に設置されている緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。

3 クリーン・ヨコハマ3 R 夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：34 団体（7月末時点）
- ・センター南駅前ポイ捨て防止キャンペーン：8月
- ・農業専用地区一斉清掃：折本（6月7日）、池辺、新羽大熊、佐江戸宮原（今後実施予定）

(2) ヨコハマ3 R 夢推進事業

3 R 行動推進のため、つづき3 R 夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「都筑区の子どもの読書活動支援」を目的とした市民団体「つづきっこ読書応援団」との協働による、区内中学校や区民の皆様を対象にしたリユース図書の募集・回収、集まった図書の区内小学校への配付、令和4年2月から開始したフードドライブの推進など食品ロス削減につながる取組を資源循環局等と連携し進めていきます。

- ・つづき3 R 夢週間パネル展・イベント：5月26日～6月1日、2月26日～3月2日

（5月28日 区民ホールでイベント実施：啓発物品配布100人）

- ・赤ちゃん会での3 R 夢啓発：9月～3月（14会場）
- ・リユース図書の配付：11月（区内小学校等）
- ・フードドライブ活動：集まった食品175点を区社協へ提供（7月末時点）

4 都筑区地球温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢に関する情報を共有する会議はコロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました。

表彰式（3団体、6個人）：5月27日

【区配事業】 公共施設・公有地での緑の創出・育成事業、保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業（環境創造局）

横浜みどりアップ計画の一環として公共施設・公有地等において、敷地内の緑化及び緑地の維持管理を支援します。

25 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 拡充	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	98万3千円	51万5千円	46万8千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、引き続き都筑区花いっぱい運動に取り組むことで、花や緑を大切に作る心を醸成します。

また、「都筑区水と緑の散策マップ」を用いて、都筑区の環境資源の魅力を発信します。

1 都筑区花いっぱい運動の推進

(1) 花と緑の親しみづくりイベントの開催

ガーデニング講座を開催（10月）することで、花や緑を大切に作る心を醸成するとともに、各家庭から地域に花や緑が広がる契機とします。

また、都筑の四季折々の写真を対象としたフォトコンテストを開催します。(10月募集開始)

(2) 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。

【区配事業】 ガーデンシティ事業（環境創造局）

ガーデンシティ横浜の推進のための先導的な取組として、市民、企業、団体など様々な主体と連携し、全市を挙げて「ガーデンネックレス横浜」を実施し、全市・地域で花と緑による街の魅力創出を進めます。都筑区では、「つづき みどりと花の名所25選」を巡るウォーキングイベントなどを引き続き行います。

【区配事業】 市民が森に関わるきっかけづくり事業 森の楽しみづくり（環境創造局）

森に関わる市民の裾野を広げることを目的として、自然の中で遊びながら生態系や自然の大切さを学ぶネイチャーゲームを市民の森で開催します。

26 ハマロード・サポーター、 愛護会等活動推進事業	R4 予算額	R3 予算額	増△減
	346万4千円	478万9千円	△132万5千円

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に対して都筑区の状況に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

清掃等の美化活動の支援に加えて、各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供します。夏の暑い時期の活動に配慮した支援をします。

また「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展（8月26日～31日）を開催します。



《ハマロード・サポーター》

団体数：48 団体（7月末時点）

2 愛護会活動推進事業

愛護会の総会・幹事会（7月2日）等の各種会議を運営支援し、パネル展（6月28日～7月5日）やPR活動を実施しました。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈機など共用の資機材を備えるほか、東方公園のほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

団体数：155 団体（公園愛護会 152 団体、水辺愛護会 3 団体）（7月末時点）



《愛護会とハマロード・サポーター
合同パネル展》



《水辺愛護会 球根の植え付け》

3 活動ステップアップ相談事業

専門家の助言を求める愛護会やハマロード・サポーターからのニーズに応えるため、花壇講座の開催など外部アドバイザーによるサポートを行います。

また区民の皆様からのニーズの高い緑道などでの自転車の通行ルール・マナーのより効果的な周知・啓発のため、リーフレットの配布（7月）に加えて、Web媒体を活用した啓発（6月～）を実施しています。



《花壇講座》

4 ナチュラルガーデン普及事業

都筑区の公園や緑道の風景に合い、且つローメンテナンスのガーデン様式である『ナチュラルガーデン』を、より多くの区民の皆様を知っていただき、区内の公園や自宅の庭等に広く浸透させ、区内全域を花と緑にあふれる豊かな環境にするため、普及啓発活動としてリーフレットを作成・配布します。



《ナチュラルガーデン》

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくため、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードや、活動に必要な道具や清掃用品を提供します。

事業の案内は、土木事務所のホームページにも掲載しています。



《案内カード》

【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）

自治会・町内会、企業等のハマロード・サポーター各団体による市道の清掃、美化活動を支援するため、清掃用具の提供等により活動を支援します。

【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）

公園の清掃等の日常管理や花壇づくり、利用者のマナー啓発等を行う、地域住民で組織する公園愛護会活動を支援するため、活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。

令和5年度 個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成の考え方について（案）

令和5年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成にあたりましては、次の考え方に基づき取り組んでまいります。

- ・「**つながり**」「**活力と魅力**」「**安心**」を**実感できるまちの実現**を目指し、基本姿勢（※別表）に基づき事業計画を策定します。
- ・区民がデジタルの恩恵を享受できる未来の行政サービスの「あたりまえ」の創造を目指し、横浜DX戦略に基づき、区民目線で行政サービスの変革（DX＝デジタル・トランスフォーメーション）に取り組めます。
- ・様々な機会を通じて現場に出向き、地域の実状、課題、思いを共有し、地域・団体・企業の皆様に寄り添って一緒に考えることで、パートナーとしてそれぞれの役割を發揮できるような事業計画を策定します。
- ・多様な地域の課題に対応するため、課相互の情報共有だけでなく課の枠を超えた議論や連携を進め、各課の専門性やノウハウを共有しながら効果的な事業計画を策定し、課題解決を図ります。

※別表【基本姿勢】

ア 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

まちの魅力を存分に活かし、更なるにぎわいの創出を図るとともに、区内外にその魅力を発信します。また、商店街振興、地域経済の活性化等に引き続き取り組み、活気あふれるまちづくりを推進します。

【主な取組分野】地域資源活用、魅力発見

イ 住み続けたいと思えるまち

人と人とのつながりを実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。また、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、子育て支援や防災・防犯等の取組を支援します。

【主な取組分野】協働による地域づくり、子育て、防災、防犯・交通安全

ウ 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

緑地や農地の多い都筑区において、さらに花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの整備に取り組むとともに、魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。

【主な取組分野】温暖化対策、美化推進、緑化推進